

准教授・八ッ塚 一郎

大学院教育学研究科
教育学部

▶ 研究内容

組織を見直し、コミュニケーションを刷新する、実践的な心理学

企業も学校も、人が集まってできている集団です。一人一人を見てはわからない集団の動きを解明し、よりよい方向へと人間関係を変えるヒントを探す、「グループ・ダイナミクス」 集団心理学 社会心理学 の研究が専門です。

切り口は、人と集団を動かす「ことば」と「コミュニケーション」です。



① 「いじめ」の心理学

一人一人がどんなに「良い子」でも、集団が病んでしまえば「いじめ」は必ず発生します。そのメカニズム、食い止めるための言葉の使い方は、学校以外の集団にも共通するものです。

「いじめ」に関する各地の「審議会」「調査委員会」でも活動しています。

② ネット時代のコミュニケーション教育

「ネットいじめ」をはじめ、の普及に伴って、多くのトラブルが子どもたちだけでなく大人を翻弄しています。トラブルを生み出す心理的背景を分析するとともに、新たな切り口からの予防教育を大学院で開発しています。



③ 言説分析の開発と応用

ことばを分析する心理学的テクニック「言説分析」について、最前線の理論で分析手法を開発。教科書やパンフレットに使われる「ことば」を分析して、その課題やよりよい改善案を提案、学会でも高く評価されています。

④ アクションリサーチの多様な展開

研究のための研究ではなく、学校、防災、ボランティアなど、さまざまな現場が抱える問題を研究し、実践的な解決の方法を探る「アクションリサーチ」を一貫して探求しています。

教育、看護、防災など、ご縁のできた幅広い領域で、最前線の理論を応用した研修プログラムの開発と実践、新しいスタイルの研修活動などを実践しています。

▶ 提供できる技術

「いじめ」やハラスメントの背景を理解する知識の提供。
そのための講演・研修の提供。ネット教育の方向性に関する理論的知見の提供。関連する講演等の提供。「活動理論」を使ったトラブル分析と組織活性化についての知識提供と研修。「言説分析」を用いた教科書、パンフレット、報告書等の分析についての知識提供。

▶ 受賞歴

2012年 第四回日本質的心理学会学会賞「優秀クリティカル論文賞」2013年 平成25年度国立大学法人熊本大学研究業績表彰

▶ キーワード

グループ・ダイナミクス 集団心理学、社会心理学 アクションリサーチ ことば 言語分析 「いじめ」 ネットとメディア